

経営比較分析表（令和5年度決算）

北海道 上富良野町 上富良野町立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	5	-	ド訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中後病院	看護配置
10,004	3,708	第2種該当	-	10：1

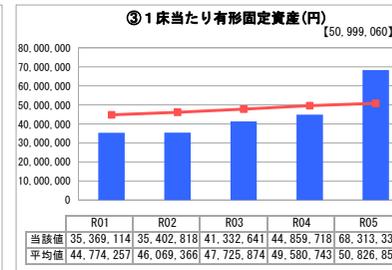
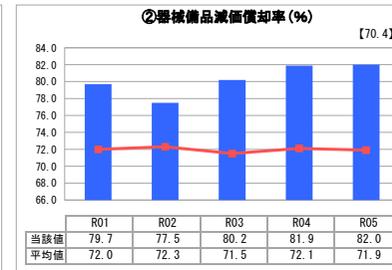
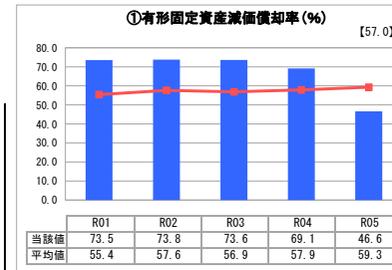
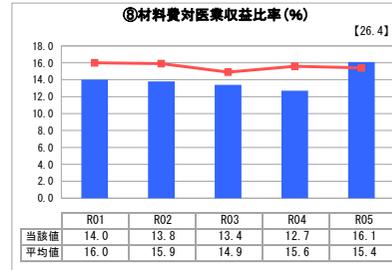
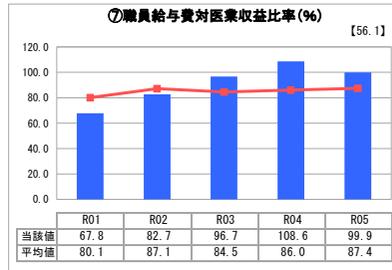
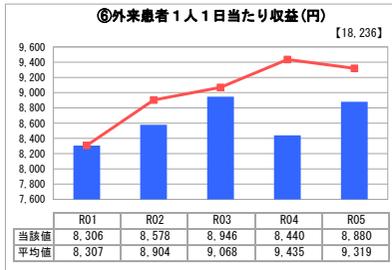
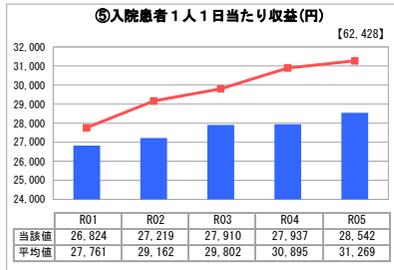
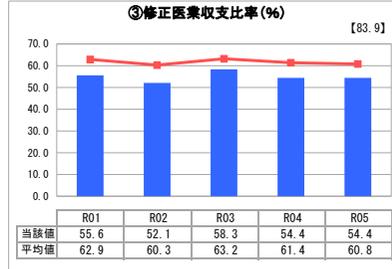
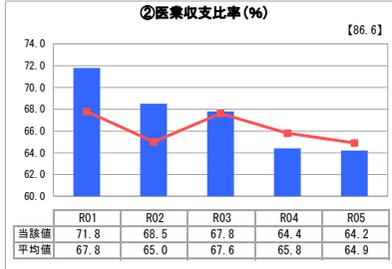
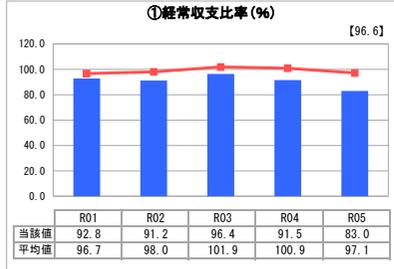
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
39	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	39
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
26	-	26

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[]	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

組織分庁・連携強化 (関係の可視化・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

当町立病院は、町内唯一の有床病院として、入院、外来、救急医療を担っております。また、公衆衛生活動として、特別養護老人ホームへの診療、予防接種、特定健診の実施、併せて介護保険施設を併設しており、地域医療の核となる医療機関となっております。

また、富良野広域医療圏の救急指定病院2病院の一つであり、慢性疾患から救急に至るまで、2次、3次医療圏のゲートキーパーとして、圏域においても大きな役割を担っております。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は病床利用率の改善、入院及び外来患者1人1日当たりの収益は若干の伸びを示しているものの材料費の高騰と医師・看護師の確保のため職員給与と費が平均値より高い傾向にあるため、医業収益は前年度よりも8.5ポイント減少しています。

このことから、健全経営の水準に達しておらず、医業収支比率及び累積欠損金比率も改善に至っていない現状にあります。

2. 老朽化の状況について

築40年以上が経過し、施設全体が老朽化している状態を踏まえ、令和7年5月に開院する新病院の完成が間近となりました。新病院に向けて医療器具などをはじめとする備品の購入を行っていることから有形固定資産減価償却率は低下。器械備品減価償却率は横倍であっても平均値と比較すれば大きく上回っていることから資産価値の低下につながっています。新病院への移行に合わせ、償却資産の計画的な更新を進めてまいります。

全体総括

経営状況は、ここ数年赤字決算が続いている状況であり、かつ病院感染事業や電子カルテ導入などの大型投資も控えていることから改善のために新町立病院改革プランに沿って様々な取組が必要となってきます。

また、地域医療の核としての町立病院の役割を果たすため、現在の医療水準を維持向上することが必要であることから、新病院の完成に合わせて病床数や病床構成等の見直しを図っていく必要があります。

※1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。